

平成31年3月25日

報道関係各位

Grinding Technology Japan 2019
展示会事務局

日本初の本格的研削加工の専門展 Grinding Technology Japan 2019 が盛況裏に終了

日本で初めての本格的な研削加工の専門見本市、Grinding Technology Japan 2019（主催：日本工業出版（株）／フジサンケイビジネスアイ）（特別協賛：切削フォーラム21、特別協力：（公社）砥粒加工学会）が、3月20日（水）、盛況裏に終了した。

会場には、日本を代表する研削盤メーカー、工具研削盤メーカー、砥石メーカー、各種周辺機器メーカーが顔を揃え、さらに海外からも高い人気を誇る工具研削盤メーカー、砥石メーカー、周辺機器メーカーが多数出展した。

3月18日（月）から3日間、千葉県・幕張メッセのホール1で開催されたこの展示会は別名、“課題解決型展示会”。つまり、技能が求められ、課題を抱える研削従事者のための展示会。この趣旨を示すように、この展示会で設けられた無料の技術相談会である「研削コンシェルジュ」は、事前にネットでの予約が殺到、当日受付分もほとんど埋まってしまうという盛況となった。

3日間とも好天に恵まれ、来場者は合計4,988名を数えた。

“日本における、初めての研削加工の展示会”としての関心は高く、研削加工に携わる人々が全国から来場した。出展者からは、「来場者が研削の専門家ばかりで話が早く、密度の濃いディスカッションができた」、「6日間のJIMTOF2018以上の商談件数があった」といった意見が寄せられた。

今回の展示会で行われたイベント、手作業でミクロン単位の加工精度を作り出す“カミワザ”を示した技能五輪出場者による「精密組立」（平面研削、やすり掛けによる手仕上げ、組み立て）、さらに、切削フォーラム21の主催による、汎用工具研削盤を使用した各種加工（底刃、外周、溝）の技術指導を公開した「工具研削体験会」には、連日立見の見学者が押し寄せ、手仕上げによる加工への関心の高さを示した。

また、（公社）砥粒加工学会の全面協力を得て実現したセミナーは、事前登録制を採っていたが、連日満員のセミナーが続くという、盛況であった。さらに、同会・会員によるポスター展では、アカデミックな研究と、民間のつながりを示す多数の出会いが報告された。

主催者は、「多くの課題を抱えているものの、専門展としての特性を活かして、出展者と来場者が密に話し合う“課題解決型展示会”が実現できた」としている。

次回は、2年後の2021年3月2日（火）から4日（木）までの3日間、幕張メッセ、4、5ホールで開催される。

本件の問い合わせ先

Grinding Technology Japan 2019 展示会事務局

TEL: 03-3432-4722 FAX: 03-3432-4730 E-mail: gtj@t-c-s.co.jp

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-32 芝大門ビル 株式会社ティ・シー・エス 内